

かしわの木

子どもたちの優しさにふれて

園長 片 桐 由 博

5月に入りました。ゴールデンウィークの前半は好天に恵まれ、どこかへお出かけした家庭も多いことと思います。函館の桜もほぼ散り少し寂しい感じがします。幼稚園では連休明けから発熱や溶連菌の園児が出ています。明日からの4連休も体調管理に十分ご注意願います。

連休明けはせっかく幼稚園にも慣れてきた「新入园児」が朝、玄関で泣くことを心配していましたが、泣き声はほとんど聞かれませんでした。この後の後半明けはどうなのかな。

4月が終わりましたが、この1カ月、子どもたちとの触れ合いの中での出来事を紹介します。(あくまでも私に関してです)

新年度が始まってまもなく、私の不注意から額をぶつけ出血してしまいました。(幼稚園ではなく自宅です)額に傷バンを貼っていることに気付いた子どもたちが、「どうしたの」と優しい言葉をかけてくれました。その中の一人の子どもが理由を聞いた後、「痛い痛い飛んで行け～」と額に指を近づけて言って、少しでも早く治るようにしてくれました。その子どもは、それから毎日額の傷バンを確認し「まだよくなるいの」と声をかけてくれます。

2つ目は、入园し2週間たったころ、ひよこさんの子どもから「おじさん、一緒に遊ぼう」と声を掛けられ遊びました。(おじいさんよりいいか。そのうちに分かってもらえるかな。)その時、裏庭だったので、飛行機塔の鉄柱に頭をぶつけてしまい、「お～痛い」と思わず言ってしまったのですが、少しすると自分たちがぶつかった時に、冷やすために使用する保冷剤を私に持ってきてくれた子どもがいました。私がぶつけたことを知って、先生に保冷剤を持ってきてくれるよう頼んだそうです。冷やして気持ちよくなり痛さが飛んでいきました。本当にありがとうございました。このようなやさしさは、これからも他人の立場を理解し、思いやりを持つことで自分自身を成長させることにつながるものと信じています。

今年度も作物を植える時期となりました。そのため先日「なかよしファーム」の草取りを保護者の皆様にお願いました。9名のお母さんたちが作業をしてくれました。また、当日来ることができないので、日曜にやってくれた家庭もありました。本当にありがとうございました。今年もたくさん収穫できるようにがんばりましょうね。